

2023年11月28日

COP28直前！「公正なエネルギー移行(JET)」の本質を鉱物資源から考えるーインドネシア現地報告会

**「公正なエネルギー移行」の名の下で進む
開発に抗う人びと
ーインドネシア現地報告：
南スラウェシのニッケル開発現場ではいま**

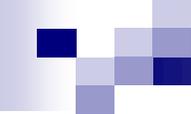


FoE Japan 波多江 秀枝

E-mail: hatae@foejapan.org

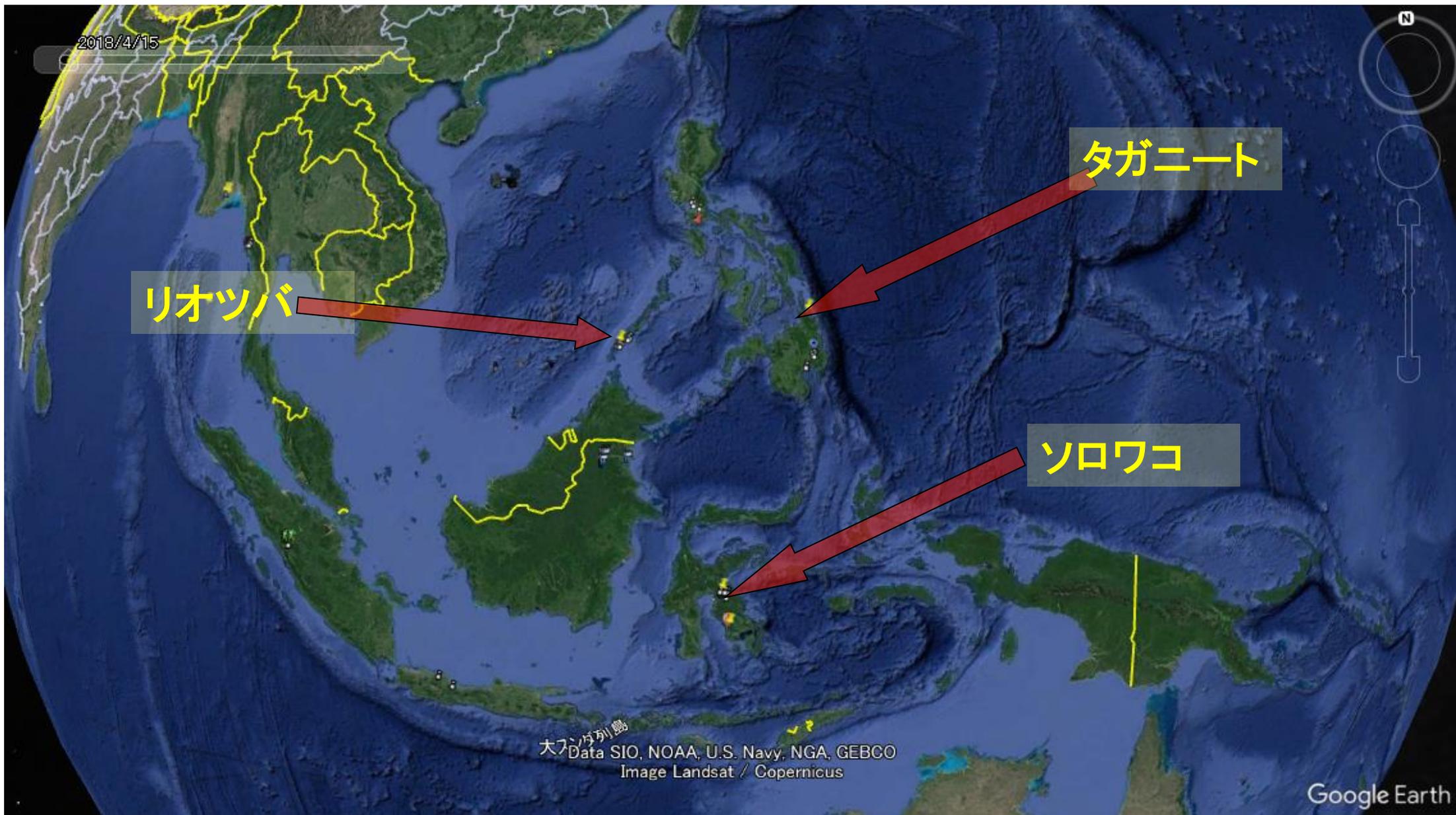
話の流れ

1. インドネシア・ソロワコ・ニッケル開発の事業概要と日本の関わり
2. 農地や水源への影響と人権侵害に抗ってきた住民たち
 - (1) 繰り返される不法逮捕
 - (2) 農地の喪失、清潔で安全な生活用水の汚染補足：ニッケル開発による水質汚染の状況(六価クロム)
3. 探査・拡張計画に抗う農家・女性
 - (1) 農家・女性たちにとっての胡椒畑
 - (2) 企業・政府からの圧力と声をあげ続ける農家・女性たち



1. インドネシア・ソロワコ・ニッケル開発の 事業概要と日本の関わり

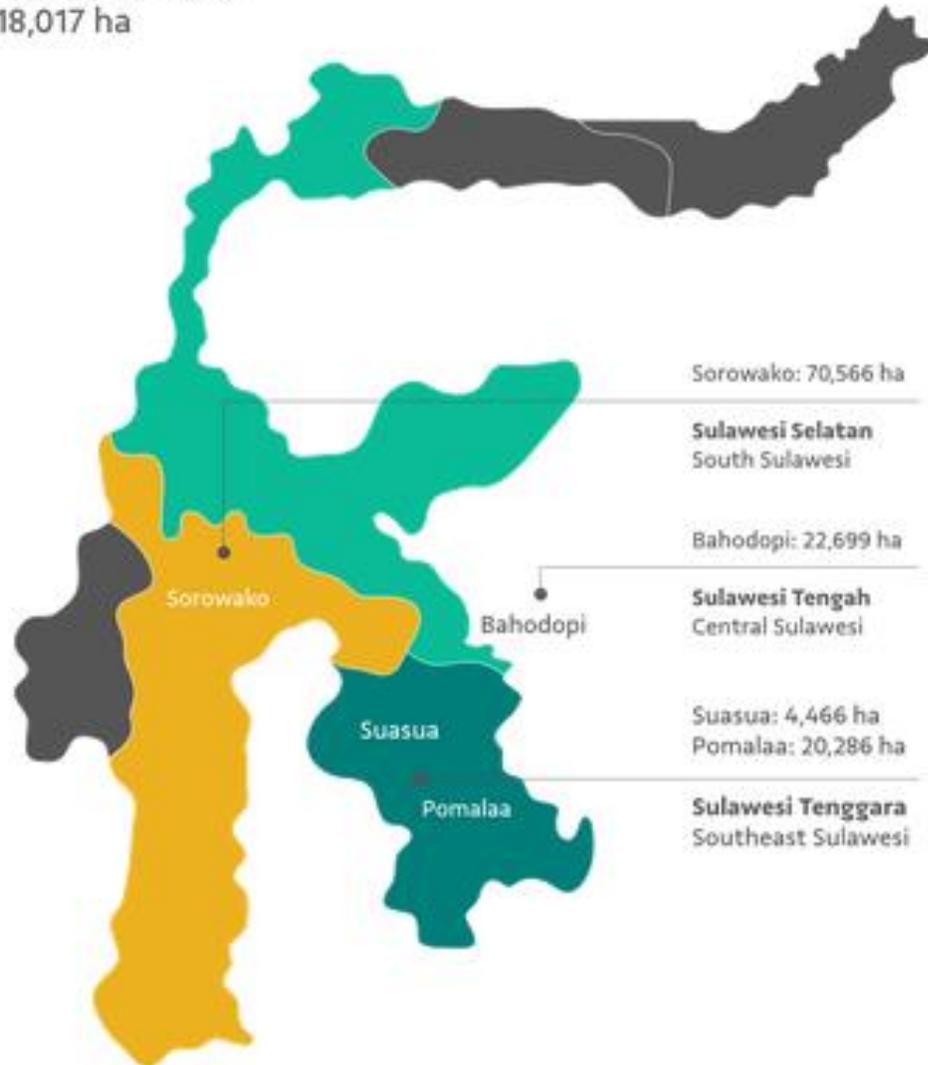
住友金属鉱山のニッケル開発現場



PTヴァーレインドネシア (PTVI) によるスラウェシでの開発

Wilayah Konsesi

Concession Area
118,017 ha



コンセッション面積 計118,017ヘクタール

- 鉱業事業契約: 2025年12月まで
- 特別鉱業事業許可 (IUPK) への切替更新(予定)

● 南スラウェシ 70,566ヘクタール

Cf. 東京23区の面積62,753ヘクタール

● 中スラウェシ 22,699ヘクタール

● 南東スラウェシ 4,466ヘクタール

+ 20,286ヘクタール

PTVIの南スラウェシ州ニッケル開発鉱区







PTヴァーレイインドネシア (PTVI) による南スラウェシ (ソロワコ) での開発

新たな製錬所 (高圧硫酸浸出: HPAL) 建設計画

ニッケル・コバルト混合水酸化物 (MHP) = 年間約 60,000 トン生産

出典: https://www.vale.com/documents/d/guest/2023-8-25-press-release-signing-definitive-agreement-sorowako-hpal_english

Proposed PLTU site
パランタン港湾設備

マリリ郡

水力発電所

ランピア燃料ターミナル

年間採掘面積 = 199.76 ha (2022)
(採掘総面積 = 5,458.60 ha)

マツ年間生産量 = 60,090 トン (2022)

ニッケル製品は、長期特別契約による日本への全量輸出 (ヴァーレカナダ社 (VCL) 80% 及び住友金属鉱山社 20%)

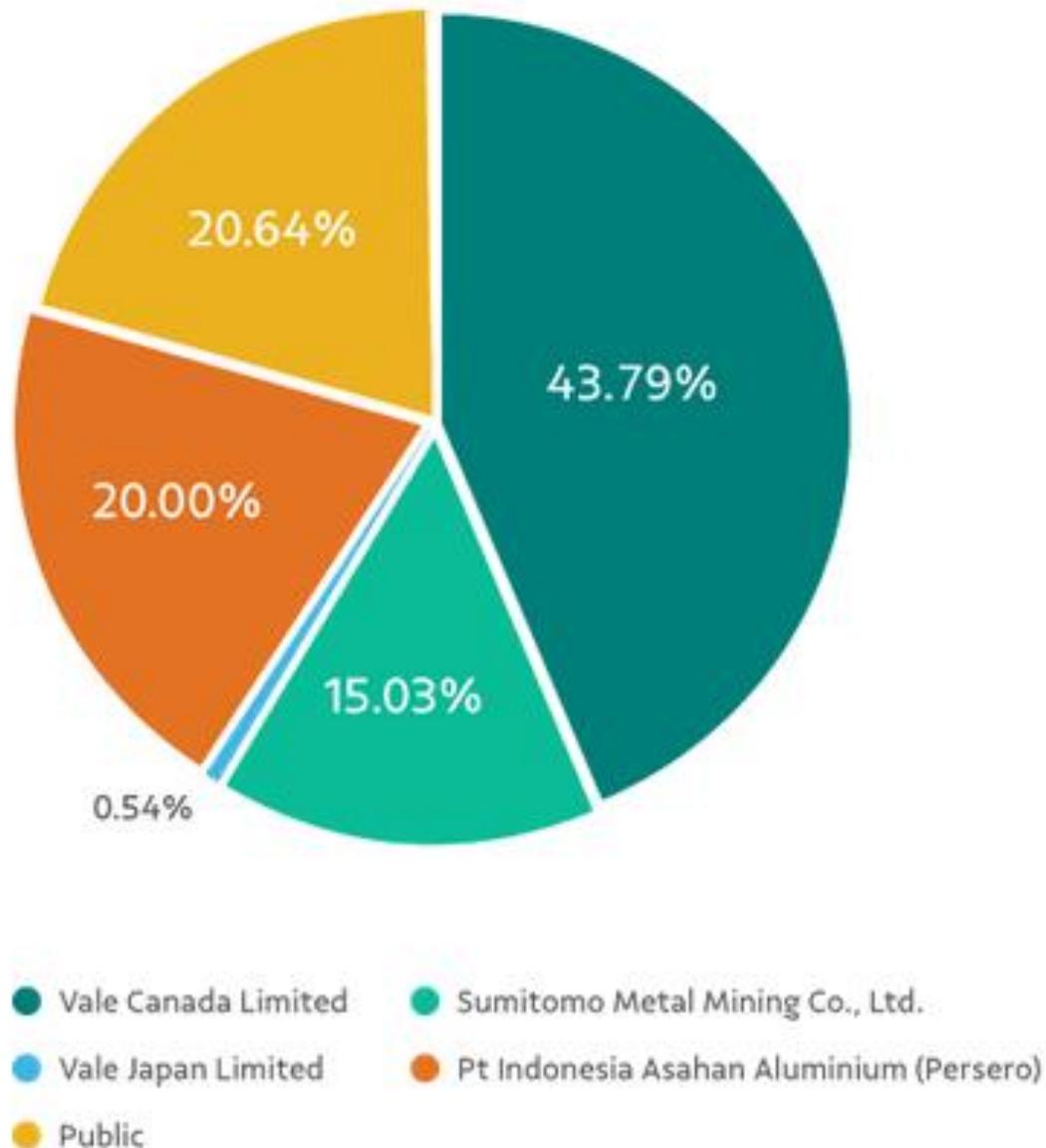
出典: https://www.vale.com/documents/d/guest/vale_e-sr-2022-layout

ソロワコ鉱山・精錬所

トウティ郡

出典: Google Earthより

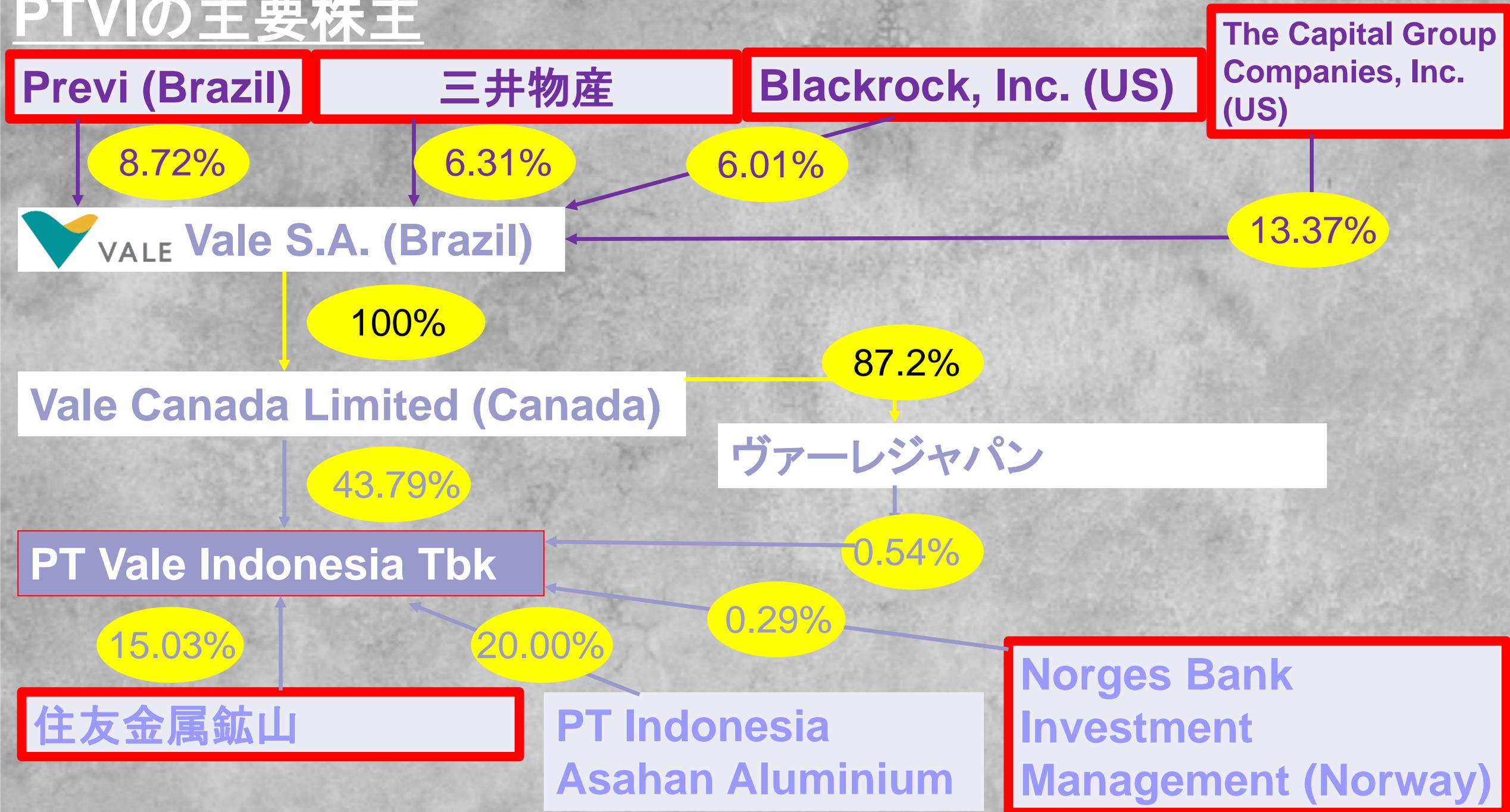
PTヴァーレインドネシア (PTVI) と日本企業の関わり



株主構成 → 51 %をインドネシア国内資本に

- ・ヴァーレカナダ (43.79 %) → 33.9 % (合意済)
- ・ヴァーレジャパン (0.54 %)
=ヴァーレカナダ (87.2 %)
住友金属鉱山 (12.8 %)
- ・保有率5%未満の一般株主 (20.64 %)
- ・PT インドネシアアサハンアルミニウム (20.00 %) → 34 % (合意済)
- ・住友金属鉱山 (15.03 %) → 11.5 % (合意済)

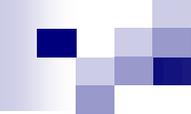
PTVIの主要株主



現ヴァーレジャパン(松阪工場)の変遷

- ・1965年8月 インコ社、志村化工、三井物産の3社で設立
- ・1970年7月 住友金属鉱山が資本参加
- ・1973年4月 ソロワコでラテライト・ニッケル鉱床を開発目的としたインコ社の事業に参加
- ・1975年12月 住友商事、日商岩井による資本参加
- ・1978年5月 インドネシア産ソロワコ・硫化ニッケル・マツトを原料とした操業開始
- ・1982年10月 大同特殊鋼と日本興業銀行による資本参加
- ・1984年12月 志村化工が全株式を譲渡。日本冶金工業が資本参加
- ・1996年1月 従業員持株会の確立
- ・2009年4月 従業員持株会の解散
- ・2009年10月 大同特殊鋼から株式取得
- ・2011年2月 三井物産、住友商事、双日から株主取得

・ヴァーレジャパン(0.55%)
=ヴァーレカナダ(87.2%)
住友金属鉱山(12.8%)



2. 農地や水源への影響と人権侵害に抗ってきた住民たち

(1) 繰り返される不法逮捕

PTヴァーレインドネシアに清潔な水などを求め、抗議デモを行った先住民族が 不当逮捕・拘束(2022年3月)



CALL FOR SOLIDARITY!

Human Rights and Indigenous People Defenders in PT Vale Indonesia's Mining Areas namely Hamrullah, Renaldy, and Nimrod were arrested after holding an action to demand indigenous peoples and workers' rights!

HUMAN RIGHTS DEFENDERS ARE NOT CRIMINALS

RELEASE THREE HUMAN RIGHTS DEFENDERS UNCONDITIONALLY!

STOP PT VALE INDONESIA'S MINING ACTIVITIES

Currently, efforts to provide legal assistance to three human rights defenders continue to be carried out through Advokasi Masyarakat Lingkar Tambang PT Vale Indonesia

#ReleaseOurFriend
#SaveSouthSulawesiRainForest
#StopNickelExpansion
#RestoreSouthSulawesi



PTヴァーレインドネシアに清潔な水などを求め、抗議デモを行った先住民族が 不当逮捕・拘束(2023年)



不当逮捕・拘束期間

・2022年3月～8月

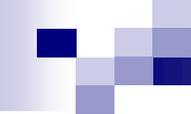
恩赦釈放

→ 検察が控訴

→ リーダー1名に有罪判決
禁錮1年

・2023年5月頃～8月

恩赦釈放



2. 農地や水源への影響と人権侵害に抗ってきた住民たち

(2) 農地の喪失、清潔で安全な生活用水の汚染

採掘現場の拡張に伴う農地や水源等への影響



採掘現場の拡張に伴う影響(2022年7月)



採掘現場の拡張に伴う農地への影響(アスリ村)



写真: WALHI SULSEL

採掘現場の拡張に伴う水源への影響(アスリ村)





採掘現場の拡張に伴う水源 への影響(アスリ村)

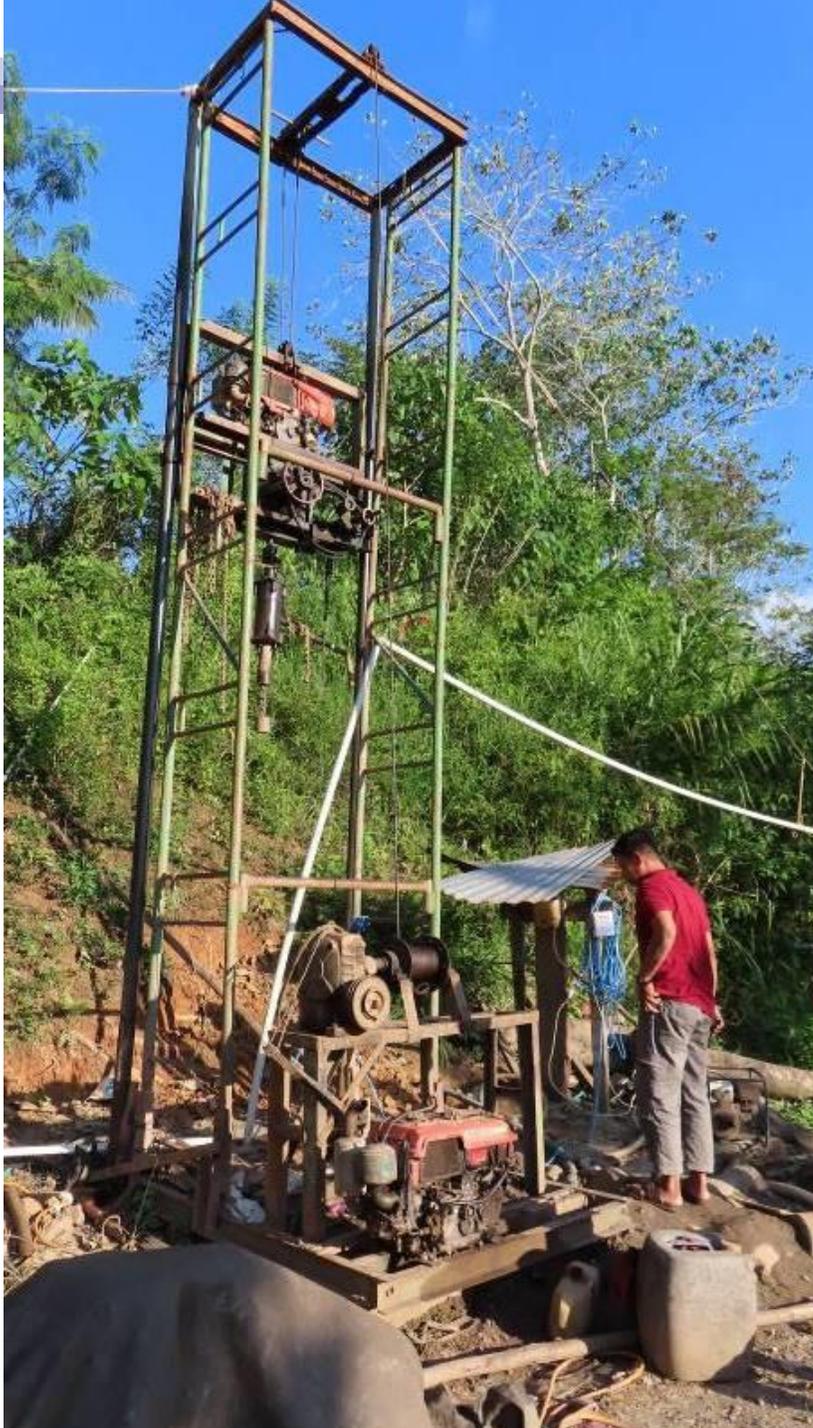
- 10年以上、24 家族が利用してきた2つの湧水
- 写真は2023年1月時点

PTVIのビジネスからクアリ集落の住民の生活を守れ！ PTVIは責任をとれ！（2023年2月）



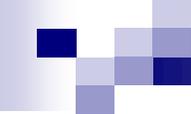
PTVIの遅々とした対応

- 農地補償＝5,000万ルピア／一つの農地
 - 2017年から農地使えなくなったが、補償を当時もらえなかった人が大勢いた。
 - 当時の補償は、7,500万ルピア／一つの農地。住民側はそれを要求したが、PTVIは「払えない」と説明。生活が厳しいので、その額を受け取るしかなし。
 - 119農家(クアリだけでなく、ブンドゥガン集落の農家も含む)が3月下旬に受領
- PTVIの水供給プログラム
 - 2023年6月初～2箇所井戸掘削開始(クアリの100家族程度を対象)
 - 2023年9月頃～共用開始



自力で水源を確保しなくてはならない家族も・・・





補足：ニッケル開発による水質汚染の状況（六価クロム）



アスリ村の住民が利用する水サンプルの六価クロム簡易検知管による水質調査結果 (0.05 mg/L) (2022年10月23日)

高周波誘導結合プラズマ質量分析計(ICP-MS)による日本での分析結果
→ 総クロム 0.144 mg/L

主な水質基準

● 世界保健機関(WHO) 飲料水水質ガイドライン

総クロム: 0.05 mg/L

● インドネシア政府 水質基準 (河川・湖等) 飲料水

六価クロム: 0.05 mg/L

● 日本政府 人の健康の保護に関する環境基準(環境省)及び水質基準(厚生省)

六価クロム: 0.02 mg/L

ニッケル開発による水質汚染の状況(六価クロム)



2023/1/12 - 1:25

**The Lawewu River
(Downstream: near the Lake
Matano)**

**The Lawewu River
(Upstream: near the airport)**

1274 m

Image © 2023 Maxar Technologies
Image © 2023 CNES / Airbus

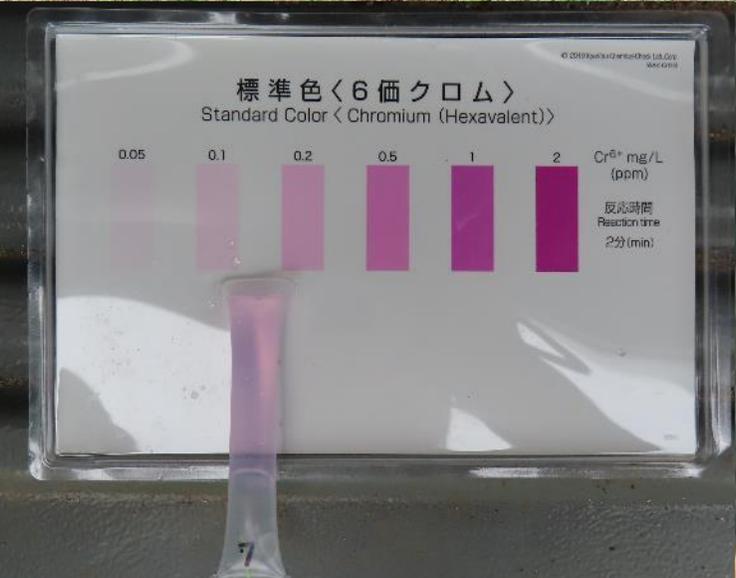
Google Earth



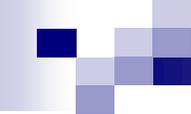
The Lawewu River
(Downstream: near the Lake Matano)

The Lawewu River
(Upstream: near the airport)

ラウエウ川(マタノ湖の河口近く)の水サンプル 六価クロム簡易検知管による水質調査結果 (ICP-MSによる分析結果→ 総クロム **0.0495 mg/L**, 2023年1月10日) (**0.124 mg/L**, 2023年7月13日=上写真)



ラウエウ川(鉱山から約 1 km地点)の水サンプル 六価クロム簡易検知管による水質調査結果
(ICP-MSによる分析結果→ 総クロム**0.067 mg/L**, 2023年1月11日)
(**0.155 mg/L**, 2023年7月11日 = 上写真)



3. 探査・拡張計画に抗う農家・女性

(1) 農家・女性たちにとっての胡椒畑

PTVIの南スラウェシ州ニッケル開発鉱区：探査・拡張計画







■ 熱帯雨林地域: 25,260.43 ha

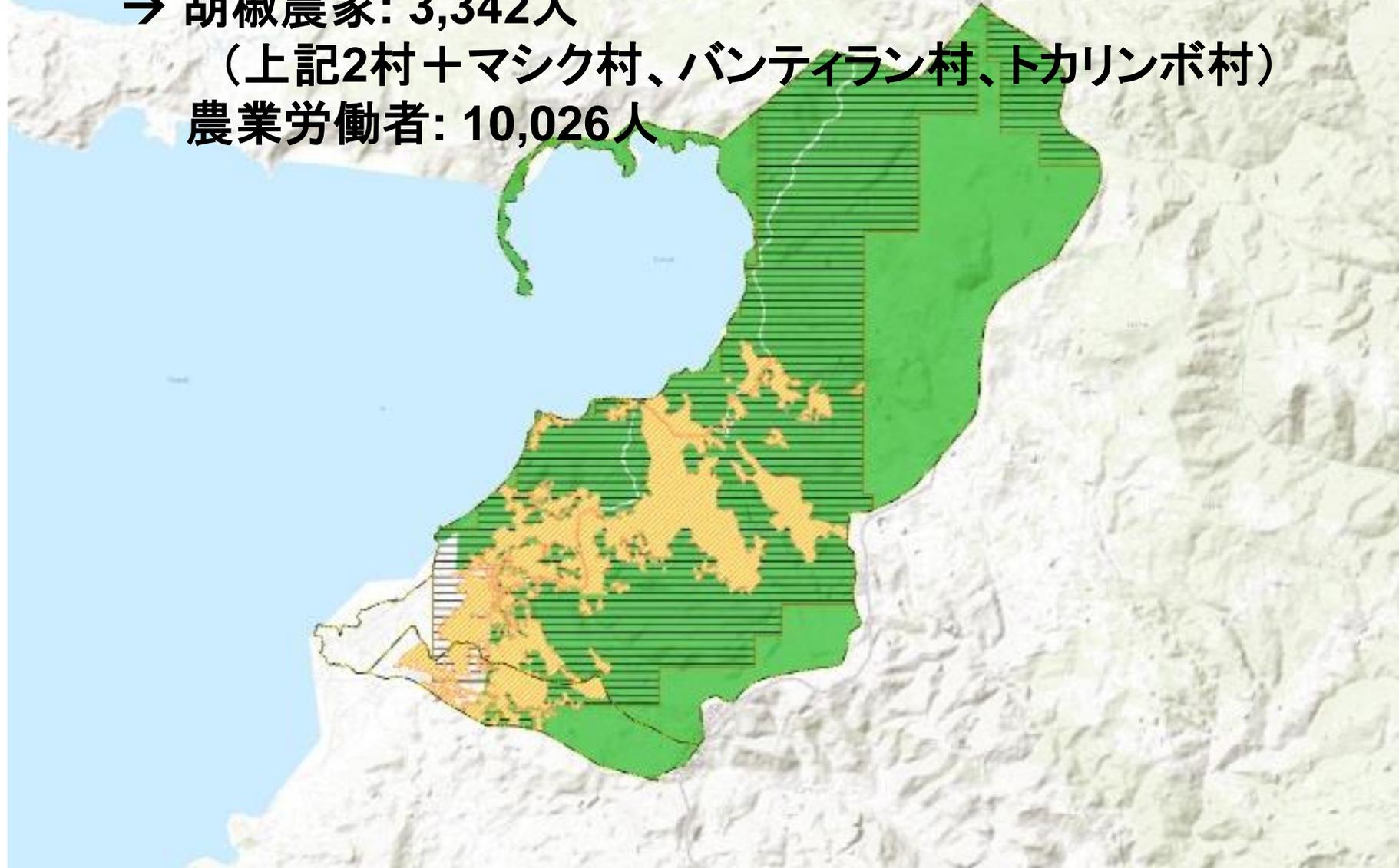
タナマリア鉱区: 17,776.78 ha

胡椒畑: 4,239.83 ha (ロエハ村、ランテアギン村)

→ 胡椒農家: 3,342人

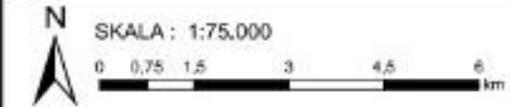
(上記2村+マシク村、バンティラン村、トカリンボ村)

農業労働者: 10,026人



PETA SEBARAN KEBUN MERICA, WIUP dan KAWASAN HUTAN

Desa Loeha dan Ranteangin Kecamatan Towoti, Kabupaten Luwu Timur Sulawesi Selatan



LEGENDA

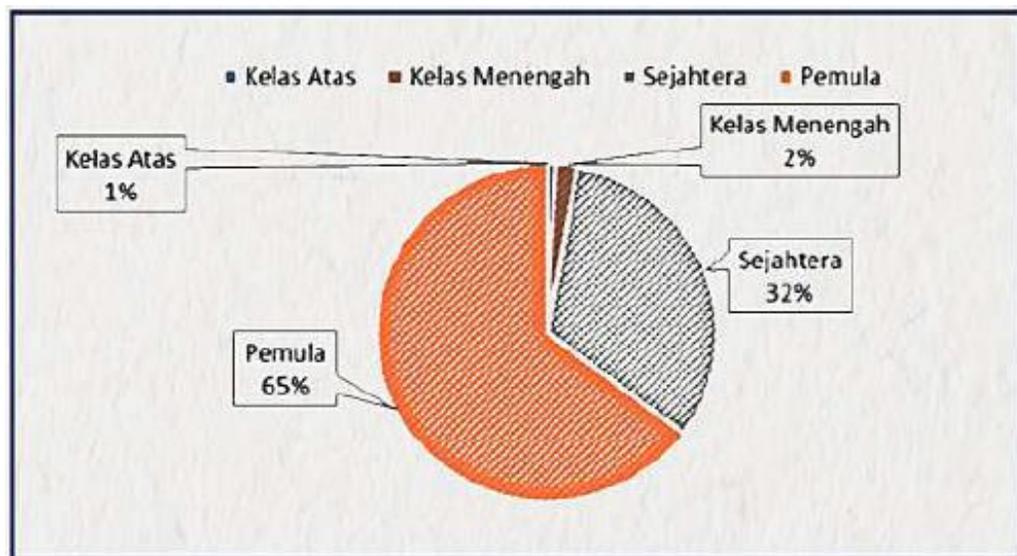
Batas Desa	WIUP
Kebun Merica	Kawasan Hutan

Luas Kebun Merica	4.239,81 Ha
Luas WIUP	17.776,78 Ha
Luas Kawasan Hutan	25.260,43 Ha
Luas WIUP dalam Kawasan Hutan	16.786,20 Ha
Luas Kebun Merica dalam Kawasan Hutan	3.657,96 Ha
Luas Kebun Merica dalam WIUP	4.239,81 Ha

Coordinate System: UTM
Projection: Transverse Mercator
Datum: WGS 1984
False Northing: 500.000.000
False Easting: 500.000.000
Central Meridian: 111.8000
Scale Factor: 0.9996
Latitude of Origin: 0.0000
Units: Meter



WALHI南スラウェシ「ファクトシート」(2023年9月)



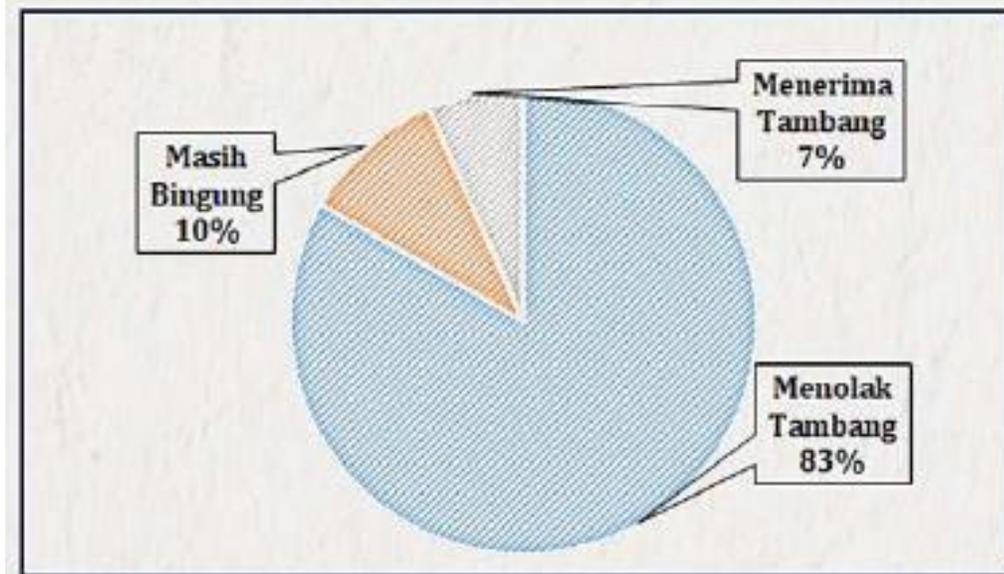
ロエハ・ラヤにおける胡椒農家の構成比

胡椒農家：3.342人 | 農業労働者：10.026人

Jenis Petani	Jumlah Pohon yang Dimiliki	Hasil Panen dalam setahun per pohon	Harga Merica	Pendapatan (rupiah)
Kelas Atas	> 30.000	3 Kg	Rp. 60.000	> 5,4 M
Kelas Menengah	10.000-30.000	3 Kg	Rp. 60.000	1,8 - 5,4 M
Sejahtera	3.000-10.000	3 Kg	Rp. 60.000	540 Juta - 1,8 M
Pemula	< 3.000	3 Kg	Rp. 60.000	< 540 Juta

ロエハ・ラヤの胡椒農家の平均収入
(左から農家規模、所有本数、
収穫/本、胡椒価格/kg、収入)

コンセッション地域の一部はタナマリア鉱区またはルメレオ・レンコナ山地、正確にはロエハ村とランテ・アギン村に位置し、総面積は約17,776.78ヘクタールで、スラウェシ島におけるPTVIの総コンセッション面積118,017ヘクタールの15.6%にあたる。



PT Vale Indonesiaの存在に対する
ロエハ・ラヤの住民の考え方の割合
(鉱山反対83、わからない10、賛成7)

WALHI南スラウェシ「ファクトシート」(2023年9月)

環境への影響



スラウェシ固有の動植物が生息地を喪失



森林破壊が加速



雨季に地滑りが発生する可能性



数十の支流からトゥティ湖に流れ込む15の主要河川が泥や金属で汚染

経済的影響



コミュニティの±90%が胡椒栽培に係る仕事に従事



4,239.8 haの土地から年間24,544トンの胡椒を生産



総経済価値 (TEV)
3.63兆ルピア
(3,637,830,555,050ルピア)



日給80,000～
100,000ルピアの
農場労働者
10,026人

社会的対立と問題



胡椒畑はジェンダーやルウ北部の洪水被災者にとって平等な労働の場



コミュニティが管理する地域の喪失による土地紛争



小規模農家の胡椒畑の損失による社会的弱者への影響

- 管理地域の喪失
- 水源の喪失
- 家庭内暴力の可能性の増大
- 借金の累積
- 子どもに対する暴力の増加
- 地滑りや洪水の恐れ
- 安心感の喪失
- 女性による恐怖、不安、脅迫の経験



探査の開始(2022年初頭～) 適切な事前の住民協議はなし

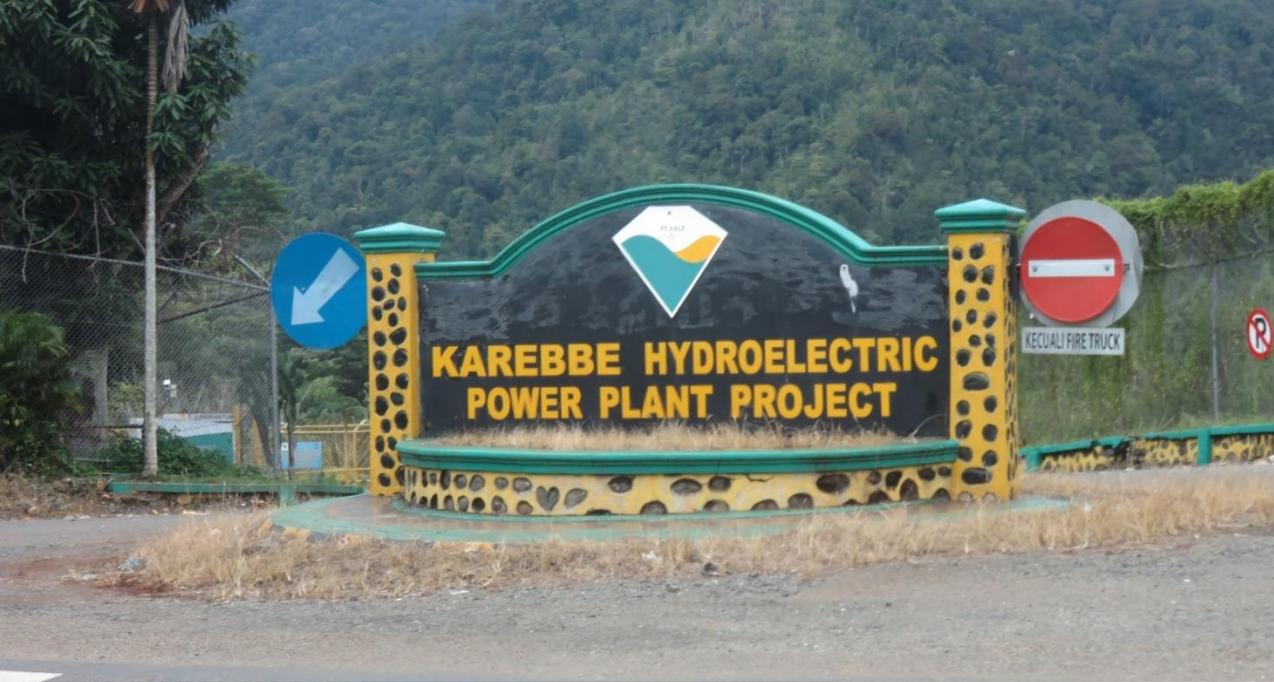




胡椒農家は闘う「鉞山拒否」
胡椒は私たちの生活を変えてくれた
もう貧乏には戻りたくない

水力発電ダムによる長年の水田・養殖池被害





PTVIの南スラウェシ州ニッケル開発鉱区：探査・拡張計画

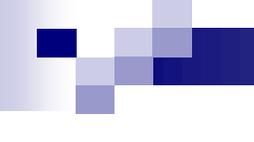


水力発電所による水田被害



タナマリアのPTVIのコンセッションを破棄して！





3. 探査・拡張計画に抗う農家・女性

(2) 企業・政府からの圧力と声をあげ続ける農家・女性たち



STOP
MELAKUKAN AKTIFITAS
EKSPLOKASI DI LAHAN KEBUN
LADA MASYARAKAT SEBELUM
MELAKUKAN SOSIALISASI
TERHADAP PETANI LOEHA
RAYA
PETANI LADA BATU BASSI

STOP

ロエハ・ラヤの農民の「ソーシャリゼーション」を行う前に
コミュニティの胡椒の畑地で探査活動すること(2023年7月)

ロエハ・ラヤ胡椒農民団体 ロエハ・ラヤ女性団体の抗議 (2023年7月)



重武装の警察機動旅団も配備(2023年7月)



PTVIが探査活動のため、インドネシア国軍を伴い胡椒畑に (2023年7月)



ジャカルタを訪れ、インドネシア関連政府機関や 日本大使館等に要請書を提出(2023年10月)



要請：
タナマリアにおける住民の管理する地域からヴァーレ社の鉱業コンセッションの撤廃を

署名
農家1,103名
女性390名

**PT Vale Indonesia must stop
serious human rights violations
in Tanamalia block, Sorowako
Nickel Mining area**

2023年8月18日

**ソロワコ・ニッケル開発事業地周辺における
現地コミュニティの基本的人権を保護する
ための措置をPT Vale Indonesiaが講じる
よう、迅速かつ適切な対応を求める要請書
(23ヶ国104団体賛同)をVale／PTVIの主
要株主に提出**

基本的人権が侵害されている状況：

- 1. 農業を続ける**
- 2. 清潔な水にアクセスできる／健康な生活を送る**
- 3. 反対や懸念を自由に表明する**

**→「国連ビジネスと人権指導原則」に基づく対応を
／人権侵害の加担の回避を**